

まつうら 市議会だより

第45号

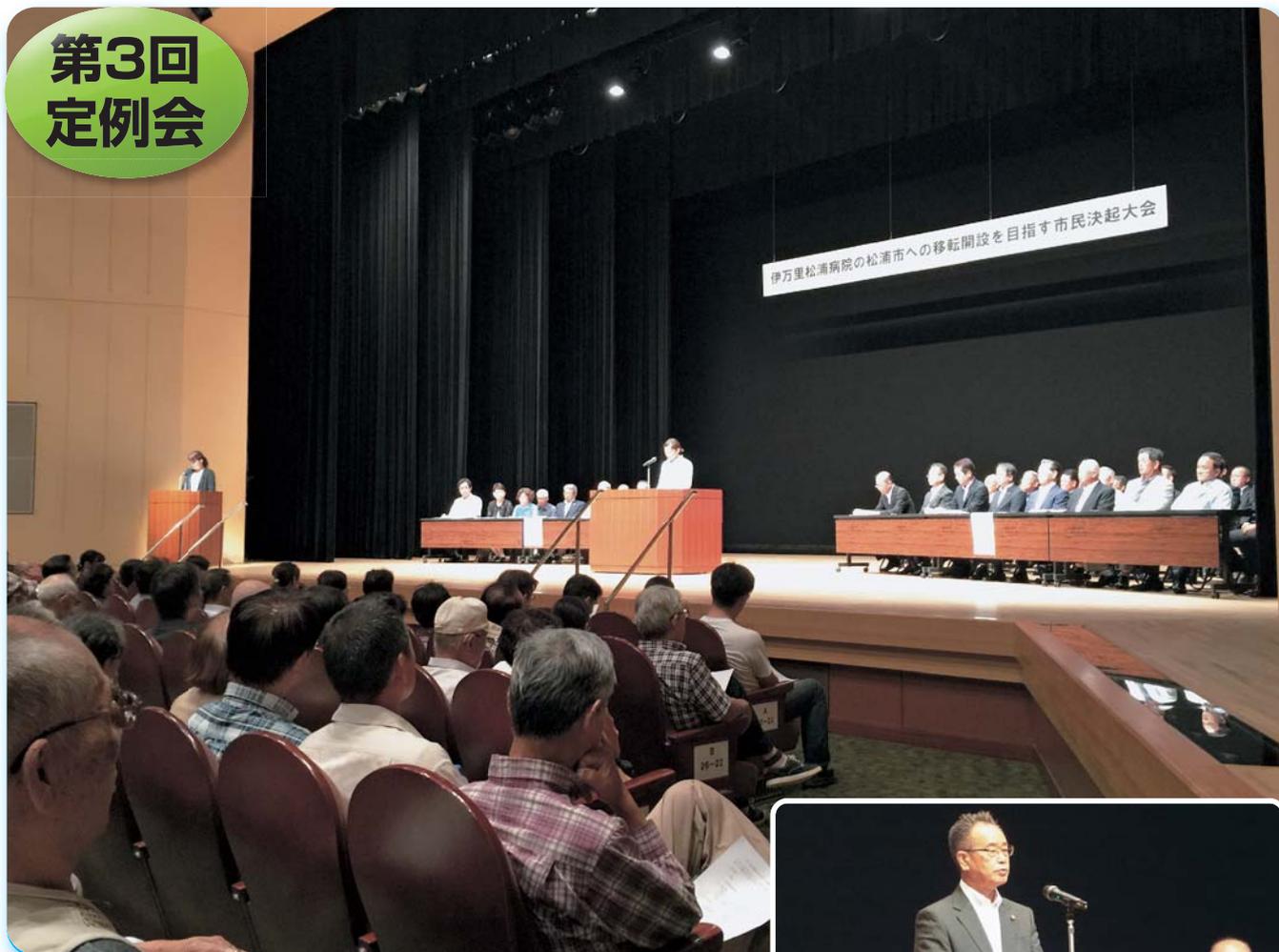
平成29年11月1日

編集・発行

広報特別委員会

電話(0956)72-0264

第3回
定例会



伊万里松浦病院の松浦市への
移転開設を目指す
市民決起大会
(9月2日 松浦市文化会館)



議会を代表して挨拶する高橋議長

伊万里松浦病院移転は継続審議中

10月2日の第2回佐世保県北区域地域医療構想調整会議において、結論が持ち越されました。今後は小委員会を設置し協議が進められます。

その結果を踏まえ、再度、調整会議を経て、長崎県医療審議会に諮られることとなります。



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成29年 第3回定例会

平成29年第3回定例会を、9月8日(金)から9月21日(木)までの14日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市個人情報保護条例の一部改正など条例7件、平成29年度各会計補正予算12件、その他の議案9件の合計28議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。また、平成28年度の公営企業会計決算3件を認定いたしました。

最終日には、平成28年度松浦市一般会計決算認定及び各特別会計決算認定13件が追加上程され、8人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置のうえ審査を付託し、議会閉会中の継続審査といたしました。

また、人権擁護委員候補者推薦の諮問1件が上程され、推薦のとおり了承いたしました。

会期日程

9月

8日(金)

本会議

- ▽会期の決定
 - ▽議長の報告
 - ▽市長の市政概況報告
 - ▽議会運営委員会の先進地調査報告
 - ▽常任委員会の行政調査報告
 - ▽特別委員会の中間報告
 - ▽市長提出の諸事項報告
 - ▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託
 - ▽請願の受理報告・主管委員会付託
 - ▽陳情の受理報告
- 9日(土)・10日(日) 休会
- 11日(月)～13日(水) 本会議
- ▽一般質問
- 14日(木)・15日(金) 委員会
- 16日(土)～18日(月) 休会

19日(火) 委員会

20日(水) 休会

21日(木) 本会議

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽追加議案の上程・説明・審議

▽認定議案の追加上程・説明・質疑

▽特別委員会の設置・付託

▽議員提出議案の上程・説明・審議



一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)という取り決めになっています。

今定例会では、9月11日から13日の3日間で10人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



白石 議員

○松浦市に適用される地域振興「特別法」等の活用について

質 地域の特徴、特色を活かし、安心して暮らせるよう十分に活用しているか。

政策企画課長 それぞれの法律、制度等に優遇措置があり、最大限に活用し、地域の振興に取り組んでいるところでは。

質 各計画書の実施事業に対する財政計画はどのようにされているのか。
総務課長 毎年、計画の具現化に向け、それぞれの施策、事業効果、財源等を精査し予算編成を行っております。

質 本市の離島に対し、振興費はいくら使用されたのか。
総務課長 平成22年度から28年度まで、事業費で14億257万円です。

質 離島に対する市長の考えは。
市長 不便を解消し、本土並みの生活をして頂くことを基本として、引き続き振興に力を入れてまいります。

質 離島3島からの要望、陳情に対する処理の状況について。
政策企画課長 青島地区において、夜7時の定期船運行の要望がありませんが、安全面の確保ができないことから、現在、代替策を講じているところでは。(その他黒島、飛島答弁有)

質 青島の常駐医師の確保についてどのようなお考えか。

健康ほけん課長 体験交流等安全の確保という意味からもぜひ必要で、現在確保に努めているところでは。

質 実施事業のほとんどが、県の承認、協議が必要。県の元振興局長であった副市長の助言は。

副市長 何よりいち早く県等が持っている情報を得ることが重要で、そのためには顔を覚えてもらい、信頼関係の構築が重要と想っています。

質 長崎佐賀両県にまたがる半島振興の協議がどのように行われたか。
政策企画課長 県と意見調整しながら、市の要望、意向が反映できるよう取り組みをしています。

質 長崎県過疎地域自立促進協議会の会長は市長であるが、本市にどのように活かされているのか。
市長 政府、関係省庁、国会議員の先生方に松浦を知っていただくという成果が上がっていると思います。また、国の新しい制度も、設計されるときから情報が入るという優位性があります。

質 鷹島、福島は松浦本土の目の前であり、海の交通環境の整備が必要ではないか。また、地域振興「特別法」の有効活用を図るべきと思うが、市長のお考えは。
市長 おっしゃるとおり松浦市の振興、発展のために、特別法を有効に活用してまちづくりをしていくことに今後さらに努力してまいります。

一般質問



久枝 議員

○一般社団法人青島○の効果と行方について

質 平成27年度からの事業費の財源内訳はどうか。また、コンサル料(委託料)の内訳は。

水産課長 国の地方創生関連の交付金を活用し、27年度が約4千300万円、28年度は3千356万円で、ほぼ国費です。29年度は3千10万円で、国費が1千500万円、市費は1千510万円です。3年間の総事業費は1億666万円です。このうちの約8千300万円が委託料です。委託料のうち2千500万円が備品で市の所有となっており、また、3千600万円は青島の情報発信のための冊子、動画作成、イベント開催費用と、研修、会議費などです。

質 松浦市の出し分は何%か。
水産課長 総事業費1億円のうち1千500万円強で約15%です。

質 コンサルを公募したきっかけ、その経緯は。
水産課長 全国公募により3社の応募がありました。有識者を交えた審査会を設置し、独自の発想や工夫、効果的な事業展開などの企業提案や実施体制、同種事業の実績などを総合的に審査、決定いたしました。

質 現在の運営状況はどうか。

水産課長 決算前の途中の経過報告では若干の赤字と聞いています。

質 社団法人の発足はいつか。
水産課長 28年10月5日設立です。
質 「まさるフーズ」と提携し10月より養殖鯛の販売予定だが、水揚げ場所で困っていると聞くがどうか。

水産課長 頻繁に水揚げされている岸壁であり、漁協と協議中とのこと。

質 今後の法人としての発展は。
水産課長 自立自走が必要で、委託先と検討、連携して取り組んでまいります。

質 島の人口増対策として空き家や若者が住める市営住宅の活用対策は。
政策企画課長 4月から空き家バンク制度を開始。周知に努めたい。

○中総体陸上競技大会を佐世保市の陸上競技場で開催する意味について
質 平成25年度運動公園改良設計費用約600万円はどうなったか。
生涯学習課長 平成25年4月から10月にかけて地形測量の業務を行っております。

質 佐世保市で陸上競技大会を開催し、実績を重ねることで運動公園を改良しないということはないか。
市長 400メートルのトラックをメインとした整備をすることはこれまでお話ししてきたところですが、相当の期間が経過しており、関係団体と方向性を固め方針をお示しいたしたいと思います。

一般質問



立 鈴
議 員

○市内小中学校の諸経費の増額について

質 この地球上の人間が構成する世の中で、最も基本的重要なものは、教育である。素晴らしい人間社会を構築できるか否かは、学校教育、家庭教育、社会教育であり、その中でも特に学校教育の比重は非常に重い。学校教育の諸経費が不十分であれば円滑な教育環境とは言えない。松浦市の教育水準にも顕著に現われる。市内小中学校の諸経費の増額について、理事者の考えを伺いたい。

教育総務課長 県内全市町を調べたところ、学校への配当物件費を児童生徒数で割った1人当たりの額を比較すると21市町中16位でした。

また、市内各学校の調査を実施したところ、全小中学校から予算不足との回答がありました。ただ、不足する中身は各学校さまざまで、今後詳細な聞き取りを行い、必要額を把握したいと思っております。

市長 調査結果を踏まえ、総合教育会議を開催しました。配当予算が学力を初め、学校生活に直結するといふ認識を持ち、その必要性を受け止めたところでは、予算措置については平成30年度から考えていきたいと思っております。

○上志佐小学校児童数減少対策について

質 児童数の減少によって行く行くは統廃合の憂き日になっていくだろうと時の流れを感じながら一日一日を過ごしていく事は、私としてはどうしても納得できない。児童数減少は時代の流れだから仕方ないで済ます事は安易な妥協にほかならない。私は児童数減少の流れ、統廃合の流れに逆流してでも何とかこれを防ぐ為、もうこれ以上知恵もなく打つ手は全て打ち、万策尽き果てるまで汗を流すべきで、その事をせずしての統廃合は絶対防ぐべきである。理事者の対応を伺いたい。

市長 上志佐小学校をどう存続していくかという事については、しっかりとした調査から入って、上志佐小学校区にいか定住していただくかというところに導き出していく必要があると思っております。

その手始めとしてアンケート調査をし、それをもとに、どう施策を展開したら校区内に定住していただくかというところを導き出すことから始めることが大事だと思っております。

おっしゃるとおり非常に厳しい環境にあることは否めませんが、上志佐地域にご縁がある方々をしつかり把握して、その方々がどのようなお考えか、それに応えていくことが堅実的な取り組みではないかと思っております。よりよい施策が進むよう努力してまいります。

一般質問



川 下
議 員

○松浦市全域における光ファイバーの設置(情報インフラ整備)について

質 この質問については2年前の9月議会的一般質問で取上げてから今回で七回目となる。今年3月の議会において、実施計画を策定する旨の市長答弁があり、これが本市における光ファイバーの設置の意思表示と認識している。その上で、市内全域をカバーするという認識でよいのか。また、市内全域とはどのような意味か。**総務課長** 今度の計画では市内全域、全エリアを対象として考えています。が、幹線とか枝線、その辺をどのように網羅するかということの詳細については、今後詰めていきたいと考えています。

質 同じく納税しながら地域によって情報格差があつてはならない。その改善が今回の事業の目的の一つであるが、採算性の観点から人が少ない集落等が計画から外されることはないか。

総務課長 今回の計画においては松浦市全域を対象として計画をするようにしていますので、一部の地域、一部のエリアを除外するという事は考えておりません。

質 離島3島の内、高速通信網未整備の黒島、飛島への接続方法はどのようなにするのか。

総務課長 青島については、平成28年度事業を実施しており、無線方式での整備を完了し、今年の4月から運用を開始しています。このことから、黒島、飛島につきましても青島と同じ整備方法が適当ではないかと考えています。

質 事業をいつスタートするのか。**総務課長** 計画を策定し、どの方法になるかということがまず決まらなければなりません。公設か民設か、事業費やその方法もまだ確定していませんので、今のところはお答えできません。

質 策定される実施計画には、具体的な実施初年度や年数等が表記されているのか。光ファイバーの設置がすすめば、松浦市に進出したい企業はある。スタート時期を明確に表記すべきである。

総務課長 先ほど市長が複数年の計画でいきたいと申しました。計画書そのものに年度を記すのか、初年度を書かず何年計画として地域分けをするのかというのも、これからの情報化委員会の中で決定していきたいと思えます。

その他、市内の産科設置についてなど4項目について質問しました。

一般質問



武 辺
議 員

○伊万里松浦病院の松浦市開設推進について

質 伊万里松浦病院の松浦市への移転を目指す市民決起大会の参加人員、内容、市民の思いをどう受け止められたのかお尋ねします。

市長 800人を超える参加で、移転開設は市民の強い願いであり、不転転の決意で必ず実現させねばならないという思いを強くしたところです。

健康ほけん課長 子育てクラブ、老人クラブ連合会、PTA連合会、消防職員の4人から意見発表が行われました。

質 市民決起大会の決議文を地域医療機能推進機構の理事長へ手渡されたときの内容と理事長の見解をお知らせ下さい。

副市長 「地域医療に貢献することが目的である私どもJCHOとしては、私どもの病院の開設を待望する松浦市民の大きな声は私たちへのエールと受け止めている」という発言があり、その上で、地域の医療機関が懸念している点への考えを述べられました。

質 国は社会保障費抑制のため介護型療養病床を中心に削減を行う方針です。福島、鷹島各町民の不安を払拭するよう市として説明責任を果た

さなければなりません。現時点での考えをお示し下さい。

市長 できるだけ早い時期に説明の場を設けたいと考えています。

○松浦市図書環境整備について

質 学校図書館の機能の充実には組織的取り組みが必要です。図書支援員の増員のほか、短期、中長期的取り組みについてお尋ねします。

教育長 読書活動推進や校長、教頭研修会等での指導を行い、教員一人ひとりの意識向上と学校及び家庭における読書活動のさらなる充実を図っていきたいと考えています。

質 総合教育会議での図書環境、市立図書館に対する今後の具体策等の協議内容をお知らせ下さい。

生涯学習課長 蔵書数の増加、利用しやすい開館日の設定、スタッフのスキルアップや増員等、施策案を検討しているところです。

質 乳幼児期の読書の必要性についてのお考えをお尋ねします。

子育て・こども課長 子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする等、人間形成の基礎を培う乳幼児期には必要と考えています。

質 「教育のまち松浦」に対して、教育委員会全体としてどう取り組んでいくか、お考えをお示し下さい。

教育長 子どもたちを恵まれた教育環境のもと、知・徳・体バランスよく育て、大人自身も学び続け生き方の手本を示し、ともに育つことのできる生涯学習のまちと捉えています。

一般質問



安 江
議 員

○国保の運営変更について

質 来年4月から都道府県と市町村の共同運営になるが、今後のスケジュール等はどのようにしているか。

健康ほけん課長 県の運営方針が本年11月に決定される予定で、それまでの間に各市町から意見聴取やパブリックコメントが実施されます。

質 国保税の算定方法はどうか。

健康ほけん課長 これまで賦課を行っていた算定方法と変わリません。

質 市民への周知、説明はどうか。

健康ほけん課長 制度が改正されたので、周知は必要と考えています。

質 今後、国保税は上がるのか、下がるのかが一番の関心事だが、県に試算の公表を求められないのか。

健康ほけん課長 県は、9月中には試算の結果を、仮係数での試算となりますが、公表したいとの考えです。

質 国保税が市民の負担増にならない施策を考えるべきだが、どうか。

市長 負担が軽くなるよう努力しなければならぬと思っております。

○赤潮被害について

質 赤潮被害の経過と状況はどうか。

水産課長 7月13日の伊万里湾奥部の発生を発端として、7月27日には殿ノ浦漁場への拡大が確認され、ピ

ーク時にはプランクトンが湾全体に拡大しましたが、現在は収束に向かっているものと考えられます。

質 過去の赤潮と同様の広がりが。伊万里湾奥のほうで発生し、湾の中に広がり、潮流や風によってだんだん広がっていくという状況です。

質 養殖魚のへい死の状況はどうか。

水産課長 8月31日現在、トラフグ、ハマチ、ヒラス等合計51万9千291尾、金額は約5億4千万円。

質 これまでと今後の対策はどうか。

水産課長 へい死魚処理と防除剤の散布にかかる費用の補助、代替魚の購入にかかる経費を支援する予定です。

質 養殖業者が安心して基幹産業を守り育てるため、必要な対応はどうか。

水産課長 湾奥部のヘドロの除去や覆砂、底質改善等を県や国に対策を求めていきたいと思っております。

質 伊万里湾環境保全対策協議会との連携はどうか。

市民生活課長 緊急の幹事会を開催して、被害状況の確認を行いました。

質 伊万里湾の環境を守り、跡継ぎのできる漁業に育てる為、できる対策は全てやるという立場に立つべきでは。

市長 赤潮発生の原因究明や環境の浄化について、本市が先頭に立って長崎県、佐賀県に要望し、国の事業として取り組んでいただくよう活動しなければならぬと思っております。

一般質問



徳田 議員

○工業団地及び住宅分譲地の造成について

【質】今福町や御厨町など西九州道インターチェンジ近隣に新たな工業団地造成をする考えはありませんか。

【市長】企業立地の動向、西九道や情報基盤整備の状況等を見極めながら総合的に判断してまいります。

【質】住宅分譲地造成は優先順位が低いとの回答でした。今福町や御厨町の西九州道インターチェンジ近隣に公営住宅の建設ができませんか。

【副市長】人口に対する公営住宅の割合は県内21自治体中一番高い。今後は民間活力や空き家の活用等、総合的に検討する必要があります。

○26年、27年の一般質問について

【質】平成28年以降、今度の造成地への企業進出で6社目となりますが、新たな企業の雇用人数はどのくらい増えましたか。

【商工振興課長】平成28年度以降、企業の立地件数は28年度4件、29年度は現在1件で合計5件。新規雇用者の数は81名となっています。

【質】市内各工業団地のパンフレットの修正、及び福島支所への設置はど

うなりましたか。

【商工振興課長】平野工業団地のパンフレットは今回修正し、福島支所に設置しました。併せてホームページも更新をしています。

【質】最近の人手不足で人材確保を含め企業誘致をどう考えていますか。

【商工振興課長】企業誘致に積極的に取り組むためにも人材確保は大変重要であり、市としても積極的に支援を行っているところです。

【質】福島鷹島診療所の介護病床が廃止されるようですが、地域住民への説明会開催をするべきではないか。

【健康ほけん課長】できれば9月、10月の頭ぐらいまでには説明会を設けてご理解いただけるよう努めます。

【質】診療所の介護施設を民間が使用すると、診療所長も管理がしにくくし、住民や入所者も不安になる。直営では出来ないか。

【副市長】今の施設を活用するとすれば、診療所と一体的な施設になりますので、診療所併設との考え方で検討を進めていきます。

【質】市長が、新福島大橋建設促進期成会の先頭に立って行動する考えはございませんか。

【市長】期成会が中心となって要望活動を行ったほうが効果的であるか、市が中心となったほうが効果的かを見極めながら、福島大橋建設の早期実現に向かって、先頭に立って取り組んでまいりたいと思っています。

一般質問



椎山 議員

○赤潮対策について

【質】7月27日から発生した赤潮は、長期間にわたり新松浦漁協組合員に多大な被害をもたらしました。被害を受けられました漁民の方々に心よりお見舞い申し上げます。

伊万里湾の赤潮は、数年おきに発生しており、伊万里湾の環境整備として漁場回復事業により調査を実施し、劣化した底質の除去、改善等が必要との調査結果を受け、平成23年8月に新松浦漁協から、伊万里湾及び周辺海域の水質調査の実施について陳情があったと思いますが、どのような対策を講じられましたか。

【水産課長】要望を受け、まず県に相談をした際に、実施可能な事業の紹介、それから、伊万里市との協力を促されたことから、伊万里湾環境保全対策協議会において審議した結果、関係省庁に対し、閉鎖性海域の底質改善対策事業を実施していただくために、水質や底質の調査を継続し、データの蓄積を進めてきたところです。

【質】赤潮発生により知事を初め、国会、県議会議員の皆様方が視察に見えました。その折、養殖業者の皆様から切実な意見があったと思います

が、その意見の内容と、それに対して行政は、どのような対応をされましたか。

【水産課長】主な意見としましては、伊万里湾の赤潮発生の原因究明と根本的な改善について、長崎県、佐賀県による国への要望や、激甚災害への指定。それから、信漁連、銀行等からの融資をスムーズにお願いしたい。売る魚がなくて生活への不安がある。トラフグの1年魚が共済の対象外であるため共済制度の見直しとか、稚魚、中間魚の購入費用への支援等の意見をお聞きしています。

市といたしましては、赤潮被害緊急対策本部を設置し、被害状況を把握し、情報の一元管理を行っております。そして市長が県を訪問し、被害状況報告、緊急的な支援についての協議を行いました。さらに、市と市議会の連名で支援並びに対策に関する要望を行ったところです。

【質】赤潮発生後、国会議員の方から伊万里湾の状況は厳しい、漁場の移転等を考えられたらとの話がありました。市長はどう思われますか。

【市長】伊万里湾が将来にわたって安心して漁業ができるように、国や県に対して環境改善の事業を実施していただくよう働きかけをしなければならぬと思っておりますし、そのための調査をしているところです。

【質】漁場の造成とあわせて、移転につきましても新松浦漁協とよく協議して対応したいと思っています。

一般質問



宮本 議員

○赤潮被害対策について

質 伊万里湾は一九八一年以降19回の赤潮が発生しており、今後赤潮の原因究明と低質改善などの抜本的な対策が叫ばれますが、当面の赤潮対策として、汚泥の除去作業や改善剤の散布に対する助成の検討が必要と考えますが、いかがお考えですか。

水産課長 平戸市では、市の助成もあつて、試験的な事業とも聞いていますが3年くらいかけて散布剤をまいていくとのこと。そういったことを含めて、漁協から要望が出ましたら、こういった対応ができるか検討していきたいと考えています。

質 赤潮の発生は、新松浦漁協の存亡、漁民の存亡、地域の存亡に関わる問題であり、赤潮発生の被害を受けない新漁場への開拓など、赤潮対策について市長の決意を伺います。

市長 この被害対策とあわせ大事なことは二つあると思います。養殖業を再生することに係る取り組み。もう一つは、将来にわたって安心して伊万里湾で漁業を営むことができる伊万里湾の環境改善、あるいは赤潮発生の原因と抑制対策をしていくことが重要だと思っております。

市、漁協一体となつて、この問題については速やかな対応をしてまいります。

○体験型旅行者の市内買い物について

質 体験型旅行事業を平成13年度から開始し、平成28年度末まで2億円を超える財政支援をして、当市が先鞭をつけた事業であり、年間3万人もの生徒が市内に民泊していながら、現在、市内の道の駅などでの買い物は、志免中学校1校だけであり、また、鷹島の道の駅での買い物はゼロであります。当市が2億円もつぎ込んで地元で金を落とさない仕組みはおかしいので、早急に改善して頂きたく見解を伺います。

市長 これまで市内に修学旅行生を誘致することに全力を挙げて取り組み、おかげさまで年間3万人程度の修学旅行生を迎え入れているところです。

この修学旅行生の体験とか民泊とかいろいろなことを考えますと、大体1人1万円ぐらいお金がこの松浦に落ちていきます。この1万円の消費をさらに伸ばすためには、おっしゃるように地元で買い物をして頂くことも必要と思っておりますので、これからは集客を図ることとあわせて地元で消費していただくことについて取り組んでいきたいと思っております。

一般質問



山崎 議員

○星鹿地域振興について

質 ほしか保育園前の変則交差点が大変危険なので何か安全対策をとることができないか。

防災課長 信号機の設置について松浦警察署に尋ねたところ、設置の目安として1日の交通量、人身事故の発生件数、道路の形状等があり、該当しないとのことでした。

この交差点については、交通管理者の松浦警察署では街頭指導の実施、道路管理者である県、市では交差点及び歩行空間へのカラー舗装を実施しています。カーブミラーの設置についても、必要と思われる箇所には済んでいると思われまので、安全対策はできていると考えています。

質 これまで人口が著しく減少している星鹿町に「子育てのできる公営住宅の建設」を訴えてきました。何か進捗はありましたか。

都市計画課長 今後の住宅政策においては、定住促進住宅の建設と空き家の有効利用の組み合わせが有効であると捉えており、星鹿地区においては、空き家の有効利用を優先したいと考えています。

質 牟田地区沿岸に消波ブロックが設置してありますが、一部未設置の

ため、その風下にある農業施設の老朽化が激しいので、消波ブロックの追加設置を県へ強く要望してほしい。

農林課長 この箇所は農地海岸で県の農林部の所管する施設です。毎年、星鹿地域自治会連合会からも陳情をいただき、県にも相談していただきますが事業採択に至っておりません。県としても事業採択のためには、背後地に塩害による作物被害など消波ブロックがないことに起因した、他の地域と比較して被害程度が高いと判断できる資料が少ないことから、未だ設置されていないという見解です。

○水難事故対策について

質 3月議会の折、市政概況報告にて「水難事故に対応できる職員の養成を計画的に行う」と言われましたが、具体的な計画の内容をお示し下さい。

消防長 予定としましては5か年計画をしております。

まず、機材の整備については平成33年度までに潜水器材を9基、個人貸与分のダイビングスーツにつきましては16人分を購入する予定です。

また、潜水隊の数については、配置とあわせ本署に潜水隊を配置する計画で、常時出動可能な体制を確保するためには、両隊にそれぞれ8人計16人の潜水隊員の養成が必要と考えています。これにより平成33年度には水難救助業務を開始できると思っています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】財産の取得について

中学校パソコン教室及び小中学校教職員用パソコン並びに小中学校電子黒板が財産として取得されます。契約予定金額（落札率）は、中学校パソコン教室及び小中学校教職員用パソコンが、7千776万円（75・2%）、小中学校電子黒板が3千348万円（62・7%）。

委員会審査では、落札率の他に、呼びかけた業者の属性（市内か市外かなど）及び応札社数、端末の機能や、一般市場との価格差について、などの質問がありました。

上記財産が取得されたことで、小中学校の現場において、児童生徒の学習意欲を高めやすい環境が整えられ、学習理解度の向上などが期待されます。

【議案】平成29年度松浦市一般会計

補正予算 歳入（全額）

今回の補正額は8億9千168万4千円です。そのうち、前年度繰越金が

5億1千297万2千円と半数以上を占めています。

その他、西九州自動車道整備予定地に係る保健センター解体撤去費用を含めた土地売却収入として、1億8千55万4千円、県からの養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金として5千948万9千円が計上されています。またこの時期は地方交付税の決定通知があり、当初予算との差引差額4千455万8千円が計上されています。



【参考】電子黒板
（導入が済んでいる志佐小学校の写真）

文教厚生委員会

【議案】平成29年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

西九州自動車道の整備に伴い、保健センターを解体することとなり、その解体費用として5千696万8千円が計上されました。

【議案】松浦市青島診療所事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ771万3千円が減額計上されました。これは主に常勤医師の離職に伴う委託料の減額によるものです。現在毎週火、金曜日に青洲会病院の医師が診療にあたっています。

産業経済委員会

【認定】松浦市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員会の定数に変更になったこと並びに農地利用最適化推進委員が新設されたことに伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例を制定するため、

本案が提出されました。

これにより、現在の農業委員定数が37人から19人になり、新設された農地利用最適化推進委員の定数が18人になります。また、この条例は平成30年4月1日から施行されます。

【議案】平成29年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

農林関係では、松浦市牛舎等設置事業費補助金として500万円が計上されました。これは、牛舎及び堆肥舎の新増改築を行い、増頭を図る農業者に対して補助を行うものです。水産関係では、養殖魚の赤潮被害緊急対策事業として、代替魚の導入を支援するため、1億1千897万8千円が計上されました。

内訳は、事業費1億7千846万6千円のうち、県と市がそれぞれ3分の1（5千948万9千円）ずつ補助金を交付するものです。

また、県営漁港整備事業費負担金が475万円減額されました。これは、阿翁浦漁港、星鹿漁港に車止めを設置する事業費でしたが、事業が延期になったことによるものです。



特別委員会の動き

企業対策特別委員会

7月10日に委員会を開催し、理事者から新たな工業団地の造成について説明を受けました。この工業団地は、志佐町栢木免の堂山地区に1万2千平方メートル程度造成し、1万平方メートル程度を分譲する計画です。

進出予定企業については、関東地方所在の自動車関係の精密部品の製造企業で雇用予定人数は30人から50人との説明を受けました。

また、8月2日に委員会を開催し、市内の企業14社と市内企業の振興、雇用対策等について意見交換会を行いました。その中で、光回線の整備は、企業が経済活動を続ける上で、また企業がさらに発展するために、必須条件になっているという意見のほか、雇用人材の不足に関する事、住居等の施設整備など市内定住策に関する事、外国人労働者の受入れ体制づくりに関することなど本市の現状や課題について、企業から幅広い意見を聴くことができました。



【企業との意見交換】

西九州自動車道整備促進特別委員会

6月12日に委員会を開催し、西九州自動車道伊万里松浦道路松浦1号橋上部工の架設工事に関し、工事概要と周辺道路の通行規制について理事者から説明を受けました。

8月10日、佐々町において、伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、西九州自動車道の早期完成に向けた平成29年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備

予算の確保等に関する決議」を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文を送付いたしました。

8月30日、協議会の活動計画に基づき、佐賀県知事、佐賀県議長並びに佐賀国道事務所長、長崎河川国道事務所長に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事

議会運営委員会の先進地調査

平成29年7月24日から7月26日までの3日間、議会改革の取り組みに関して三重県鳥羽市及び兵庫県岸本市の先進地調査を行いました。

【鳥羽市】

鳥羽市は志摩半島に属し、西を伊勢市、南を志摩市に接するほかは海岸線である。市域全体が伊勢志摩国立公園に指定されています。海岸はリアス式で温暖な気候に恵まれており、人口は1万4千900人余です。

（調査概要）

鳥羽市議会ではソーシャルメディアを利用した情報発信や、議会報告会に代わる「TOBAミライトーク」を開催され、テーマに沿った意見交換を市内の団体と積極的に行わ

業促進と早期完成、道路整備予算の安定的な財源確保及び道路財特法における特別措置の平成30年度以降の継続を要望いたしました。

各機関とも、予算確保が重要であり、早期完成に向け、一致協力して取り組んでいきたいとの回答をいただきました。

れています。

また、タブレット端末を利用した活動をされており、資料を活用した一般質問や議会事務局とのやりとりなどにも活用され、事務負担軽減にもつながっています。

様々な問題が出てきた議会報告会を一時休止され、今後のあり方を議論され、新しく「TOBAミライトーク」を開催されています。議会内で出てきた問題を真摯に受け止め、協議を重ね、新しいものを創りだされる姿勢は松浦市議会としても学ぶべきものが多いと感じました。

また、タブレット端末を利用した議会運営では、市民目線に立ったわかりやすい一般質問となるよう工夫されています。

【篠山市】

篠山市は、兵庫県の中東部に位置し、東は京都府、西・北は丹波市・加東市、南は大阪府・三田市などに隣接しています。舞鶴若狭自動車道の開通やJR福知山線の複線化によって、関西経済圏の大阪・神戸からの時間的距離が大幅に短縮され、1時間圏域となっており、人口4万2千400人を有します。

（調査概要）

篠山市議会では、タブレット端末を使ったペーパーレス議会に早くから取り組まれています。

タブレット端末を導入したことにより、議員は豊富なデータを常に持ち歩くことができ、市民からの質問等に素早く対応することが可能になり、議員個人の更なる資質向上につながることを期待されることとなりました。

タブレット端末を導入した両市を参考にしながら、今後、活用方法等熟考し導入についての検討を行いたいと思っています。



常任委員会の行政調査

総務委員会

平成29年7月19日から21日までの3日間、徳島県名西郡神山町の「情報基盤整備」と、大阪府高石市の「共同利用型自治体クラウド事業」について行政調査を行いました。

【神山町】

徳島県神山町は、徳島県の東部に位置し、全面積の約83%が山地という平地の少ない中山間地域で、町の面積は173・3km²、人口5千570人余です。

2011年の地上デジタル放送移行を前に、2004年神山町・佐那河内村が連携し、山間部の情報格差難視聴対策としてケーブルテレビ兼用の光ファイバー網を整備されました。光ファイバー網を用いた高速通信を整備していることから、都市部以上の通信環境があり、都市部に本社を置くIT企業や自治体、大学などのサテライトオフィスの進出が相次ぎ、それに伴って、ビストロや弁当屋など新規3次産業も生まれまし

た。交流人口の増加によって、2011年には社会動態人口が増加に転じ、以降、まちづくりの取組に対し注目が集まりました。



【神山町】

事業費は約10億7千万円で、うち約4億2千600万円が国と新設された県からの補助金。残り約6億4千400万円のうち4億円程度が過疎債で、設置総延長は262km。運営については自治体が設置し、民間が行う「公設民営」方式です。加入率は85%となっており、地デジ化により、テレビ

が視聴できなくなることから、インターネットに縁の薄い年代の方も加入する必要があったことがあげられます。

しかし、テレビを観るのにお金を払うことに違和感を覚える方が多く、50回以上もの説明会や意見交換会を行われたとのことでした。

加入者が増えたことで、人が集まる場所に、インターネットに接続できるフリースポットを設置していき、家の外でもインターネットが可能になり、その結果、サテライトオフィスが生まれるきっかけになったとのことでした。

事業が進行していった背景に、行政側の危機感があったことも重要な部分と感じます。その危機感の分、情報基盤整備に対する動きが積極的であったこと。また、神山町はサテライトオフィス誘致の先進地として知られますが、最初から誘致の魂胆ありきではなく、「やりたいことはまずやってみよう」との取組が、はたから見えて楽しそうであり、関心を集め、来町そして進出を促す結果となったようであり、松浦市においても参考になると考えます。

神山町においては、民間が主体的役割を果たし、好結果を生みましたが、行政主導での成功事例も全国に

あることから、本市においては行政側の積極的な情報基盤整備への取り組みを期待します。

【高石市】

高石市は、大阪府の中南部に位置し、北と東は堺市に、南は和泉市と泉大津市にそれぞれ隣接し、西は大阪湾に面しており、人口は約5万8千人です。

今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震などの災害に対して、災害に強いまちづくりを目指し、市民参加の大規模な避難訓練や避難タワーの確保などに加え、重要なデータが消失する危険性を回避する必要があることから、その手段として検討されたのがシステムの共同利用型クラウドでした。

クラウド（クラウドコンピューティング）とは、作成した電子データを利用者側のコンピュータ等の端末に保存せず、インターネット関連企業などが持つサーバーなどの設備で蓄積・管理し、情報処理する形態のことです。インターネットに接続できる環境であれば、時間と場所を選ばずに作業をすることができま

す。データ保護対策として、安全地帯へのデータ保管や、共同で運用する事でコスト削減へとつなげる実績は、新しい提案として私たちも学ぶとこ

ろが多くありました。今日、これまで安全と言われた地域において大きな災害が頻発しており、本市庁舎が海辺に近い上、海拔が高くないことから、松浦市においても調査研究に値すると感じました。



【高石市】

文教厚生委員会

平成29年6月28日から30日までの3日間、北海道砂川市の「介護予防・日常生活支援総合事業」、砂川市社会福祉協議会の「金銭管理等支援事業」、NPO法人中空知成年後見センターの「法人後見制度事業」と、北海道鷹栖町の「ホークス交流事業」、

「高齢者交通費助成事業」について行政調査を行いました。

【砂川市】

札幌市と旭川市のほぼ中央に位置し、JR函館本線や国道12号、道央自動車道が縦貫しており、道内各地への交通アクセスに優れています。人口は1万7千400人余で、高齢化率は36%を超えており、国や北海道の平均値より早く高齢化が進んでいることから、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域で高齢者を見守る・支えるしくみづくりが行われています。

町内会等の地域のみで頼った取り組みには限界があり、行政と地域が協働して支え合い、元気な高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活が送れるよう各種事業を充実させています。

地域包括ケアネットワークシステム（砂川みまもりんく）事業では、本人の同意に基づいて、市立病院の電子カルテを関係機関で情報を共有して連携を図っています。医師の情報が必要な時に得ることができるよう、事業者が深夜の緊急時対応に利用したり、患部の写真をその場で撮っておき受診時に医師が確認するなど、活用の幅が広がっています。市では対象者一人ひとりに丁寧に説明

を行い、同意登録数増加に取り組んでいます。

砂川市社会福祉協議会が取り組んでいる金銭管理等支援事業は、北海道では日常生活自立支援事業の対象外となっている「施設入所者及び長期入院者」をフォローしていることから、今後さらにニーズが高まっていくと予想されています。

NPO法人中空知成年後見センターが行っている、法人後見制度事業では、後見を必要とする人は増加しているが市民後見人は増えていない状況であり、制度の周知活動や人材確保が課題とのことでした。

砂川市は、かつて石炭産業で栄えていたことや、現在火力発電所があることなど本市と共通するところがあります。大きな違いは、診療科目25科、総病床数498床を有する市立病院が市民の命と健康を支えており、各種福祉事業の一端を担っているところです。なかでも、地域包括ケアネットワークシステム事業での病院と各種事業所との連携は、緊急時に電子機器端末の活用により迅速な情報の共有が可能であり、単身世帯が増える中、今後取り組むべき事例として大変参考になりました。

金銭管理等支援事業や法人後見制度事業は、ニーズに対応して取り組

みをはじめた事業であり、本市においても市民からの要望が増えていくと考えられます。

同じように高齢化率が30%を超えている本市においても、高齢者が元気に住み慣れた地域でいきいきと、自立した生活ができるように、市民が必要としている事業を充実させることが急務であることから、議会としてもより良い事業の構築のために、市民の声に傾聴していくことが必要であると感じました。



【砂川市】

【鷹栖町】
鷹栖町は北海道のほぼ中央に位置し、北は和寒町、他の三方は北海道

第二の都市旭川市に隣接しており、人口は7千人余です。

JR旭川駅まで車で約25分と利便性が高く、豊かな自然に囲まれた住みよい環境となっています。

基幹産業は農業で、品質、収穫量ともに道内屈指のお米や良品質な野菜を生産しています。さらに、積極的な企業誘致により、農商工が一体となった地域複合産業の形成を目指しています。

合併前の旧鷹島町時代、平成8年から始まったホークス交流事業は、小学校5〜6年生が風土や文化、気候の違いお互いのまちを訪問して、実際に自然や暮らしを体験することで相互理解と郷土意識を育み、より広い視野を持った青少年育成に貢献しています。

高齢者交通費助成事業は、平成4年から高齢者の経済的負担軽減と福祉の向上を目的として、80歳以上と70〜79歳の運転免許証を自主返納した方に、バスやハイヤーなどで利用可能な1万円分相当の交通券を助成しています。

ホークス交流事業は、心身ともに大人へと成長している小学校5〜6年生が、全く違う環境で数日間過ごすことで得た成功経験が、その後の子ども達の成長にも良い方向に影響



【鷹栖町】 ホークス交流事業】



していることは大変有意義であり、訪問の時期や受け入れ態勢など、続けていくには難しい面もありますが、子どもたちのために今後も途絶えることなく継続させることが必要な事業であります。

また、22年の交流の歴史が育んだお互いの関係性は、市民レベルの交流にとどまらず、あらゆる面で相互協力や連携など広がりを感じる事ができるのではないかと感じました。



【鷹栖町】

高齢者交通費助成事業は、元気で生活する為に高齢者に必要なものは、「きょういく（今日行くところがある）」と「きょうよう（今日用がある）」との考えから、外出機会を増やす事業としても位置付けられています。経済的な負担の軽減だけではなく、どのようにそれを活用してもらうかという点とも結びつけて考え、活用を増やし、利用しやすくすることで交付率の向上を図っており、このような考え方は本市での同様の事業においても大変参考になる取り組みでした。

議案等の審議結果

条 例	○松浦市個人情報保護条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市情報公開条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市実費弁償条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市税条例の一部改正について	可決(全員)
	◇松浦市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決(多数)
	◇松浦市福島地域農水産物等直売施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決(全員)
	◇松浦市公営住宅条例の一部改正について	可決(全員)
予 算	◎平成29年度松浦市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	□平成29年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	□平成29年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成29年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成29年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成29年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	◇平成29年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成29年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	◇平成29年度松浦市工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	◇平成29年度松浦市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	◇平成29年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成29年度松浦市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	その他	◇損害賠償額の決定について
◇損害賠償額の決定について		可決(全員)
□損害賠償額の決定について		可決(全員)
○財産の取得について		可決(全員)
○財産の取得について		可決(全員)
◇財産の取得について		可決(全員)
◇平成28年度松浦市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決(全員)
◇平成28年度松浦市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決(全員)
□市有財産の無償譲渡について		可決(全員)
認 定	◇平成28年度松浦市水道事業の決算認定について	認 定
	◇平成28年度松浦市工業用水道事業の決算認定について	認 定
	◇平成28年度松浦市下水道事業の決算認定について	認 定
	▼平成28年度松浦市一般会計の決算認定について	継続審査
	▼平成28年度松浦市各特別会計の決算認定について(12件)	継続審査
請 願	○「国家賠償法第1条第2項」の検証を求める請願について	不採択
諮 問	※人権擁護委員候補者の推薦について(鷹島町 山下壽子氏)	了承(全員)
議員提出議案	※道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書の提出について	可決(全員)
<p>(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。</p> <p>◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査 ○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会 ▼・・・決算審査特別委員会</p>		

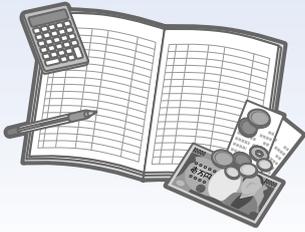
決算審査特別委員会を設置

平成28年度の一般会計決算及び各特別会計決算を審査するための決算審査特別委員会を設置しました。

委員構成は次のとおりです。

- 委員長 白石 光一郎
- 副委員長 吉富 武志
- 委員 神田 稔
- 森田 隆司
- 安江 結子
- 崎野 廣美
- 尾野 一男
- 椎山 賢治

平成29年9月21日設置



8月

- 2日◇企業対策特別委員会
市内企業との意見交換会
- 9日◇松浦鉄道自治体連絡協議会
総会 (佐世保市)
- 10日◇三市一町議会西九州自動車道
建設促進協議会総会
- 16日◇長崎県後期高齢者医療広域連
合議会定例会 (長崎市)
- 20日◇長崎県市議会議長会行政視察
(沖縄県石垣市、那覇市)
- 22日◇長崎県市議会議長会臨時総会
(雲仙市)
- 23日◇長崎県市議会議長会議員研修
会 (雲仙市)
- 24日◇伊万里湾赤潮被害対策要望
会 (長崎市)
- 25日◇全員協議会
- 29日◇北松北部環境組合議会定例会
(平戸市)
- 30日◇三市一町議会西九州自動車道

9月

- 1日◇議会運営委員会
- 8日◇第3回市議会定例会
- 12日◇広報特別委員会
- 13日◇議員定数等特別委員会
- 26日◇企業対策特別委員会

10月

- 2日◇決算審査特別委員会
11日◇13日
- ◇産業経済委員会行政調査
(宮城県名取市、気仙沼市)
- 16日◇広報特別委員会
- 25日◇決算審査特別委員会
- 26日◇九州市議会議長会理事会
(沖縄県那覇市)
- 30日◇決算審査特別委員会

編集後記

今年の夏は辟易するほどの暑さに加え、少雨、赤潮と本市にとっては名実ともに厳しい夏となりました。夏の暑さは秋分頃まで、冬の寒さは春分頃までには和らぎ、凌ぎやすく

なるという意味の「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句があります、なるほど、彼岸過ぎ頃から随分と凌ぎやすくなった感があります。

この慣用句は、転じて、「辛いこともいずれ時期が来れば去っていく。」という意味として用いられることがあります。辛いことがあってもそれを辛いと思わず経験と捉え、気にしないのではなくむしろその出来事を受け入れて自分自身のスキルアップへと繋げていく。このように何事にもプラス思考で臨むことができるようになることが大切だということなのでしょう。

さて、このメンバーでの広報特別委員会は今号が最後となりました。市議会だより次号は1月の改選後、3月議会分からの発行となります。少し気が早い話ではありますが、市民の皆様にとって来年も良い年でありますようお祈り申し上げます。

(鈴)

広報特別委員会

- 委員長 山口 芳正
- 副委員長 武辺 鈴枝
- 委員 山崎 誠也
- 委員 川下 高広
- 委員 神田 稔
- 委員 宮本 啓史